

これまで 中長期に取り組む施策

ライフステージに応じた
切れ目のない支援

(ライフデザイン ～ 出会い・結婚
～ 妊娠・出産 ～ 子育て)



R6(2024) 3つの視点に特に注力

- ・企業とのタイアップ
- ・結婚の“壁”対策
- ・空気感の醸成



継続・踏襲しつつ

R7(2025) さらに焦点を絞り重点的に展開

「結婚支援」の一層の強化！

結婚に対する個々人の考えや自由な選択が尊重されることを前提に

結婚・子育てを希望する人を全力で応援！！

そのための 女性・若者が住み続けたいくなる環境づくり！
「働きがい」「暮らしやすさ」

◆女性の流出を防止する
～定住・還流の促進～

新 女子学生のUターン促進

新 女性・若者に向けた情報発信

〔 県内の企業情報や岡山の強みを
県内外の女性・若者に向け発信 〕

拡 女性の活躍推進



◆価値観・慣習を変える
～アンコンシャス・バイアスの解消～

★企業の意識・風土の変革促進

新 従業員の子育て支援応援

拡 男性育休取得促進



★当事者の意識改革、ロールモデル体感

拡 ライフデザイン講座

拡 子育て家庭留学



◆結婚への“一歩”を
後押しする

★「はじめの一歩」の後押し

新 民間事業者とのタイアップ
(官民連携結婚応援イニシアチブ事業)

拡 縁むすびネットの利便性の向上

★「決め手の一歩」の後押し

新 住まいの支援
(結婚新生活支援パワーアップ事業)



◆気運を醸成する
～前向きな空気感と“当たり前”の景色～

★社会全体の取組

拡 こどもまんなかマナーアップ県民運動

拡 同窓会等開催支援

・結婚応援パスポートの普及促進



出生数増のカギは… “女性・若者が輝く岡山”

保育人材の確保

<なり手（保育士）を増やす！>

県内養成校と全面タイアップ

◆ 広域エリアでの就職相談会

大規模な保育の仕事就職相談会を開催

新 市町村と養成校を仲介

市町村と保育士養成校との連携支援

保育の魅力を伝達

◆ イメージアップ広報

ICT活用等により働きやすい職場づくりが進む
保育の現場を動画等で紹介

アピール効果を試行

◆ 保育士募集のエリア一括発信

市町村の保育士募集を県において発信

新たな制度を活用

◆ 「地域限定保育士」制度の導入

国が全国展開を図る地域限定保育士制度を
いち早く導入（※法改正を前提）

保育現場に

<多様な人材を生かす！>

保育士の負担軽減

◆ 保育補助者等の配置支援

国補助制度を活用し、保育補助者（公立・私立）や保育支援者

者

（私立）の配置経費を支援

拡

◆ 公立保育施設への保育支援者の配置支援

単県事業として、公立保育施設への保育支援者配置経費を

保育士養成校
（大学・短大）

連携
強化

○ 保育士確保、就職・復職支援

マッチング、潜在保育士の掘り起こし、
コーディネーターによる園への見学同行

○ 相談支援、現任保育士のフォロー

随時の相談対応、研修会 等

拡 ○ 離職防止、職場環境改善

相談支援、管理者等向けセミナー **カス**

ハラ対応セミナー、小児科医による現場
対応力向上研修 等

連携
強化

<連携体制の強化>

課題共有・情報
交換の場
（「県・市町村子
育て支援施策推
進会議」の開催）

早いうちから

<学生と園・地域との「つながり」をつくる！>

◆ センターへの登録促進

学生のうちから保育士・保育所支
援センターへの登録を促進し、早
期

支援

◆ 保育職場等体験ツアー

学生を対象とする保育職場等見
学会（保育の様子・園の方針、住ま
い等の地域の状況）

◆ 保育職場インターンシップ助成

インターンシップに係る費用助成

<頑張る保育士を応援する！>

◆ 若手保育士の交流会

若手保育士が悩み等を共有・相談できる場づくり

<DXで職場環境を改善する！>

◆ ICT機器導入支援

保育現場で活用できるICT機器の
見本市を開催

◆ 個別実地相談指導

保育現場の課題に応じた個別実地相談指導



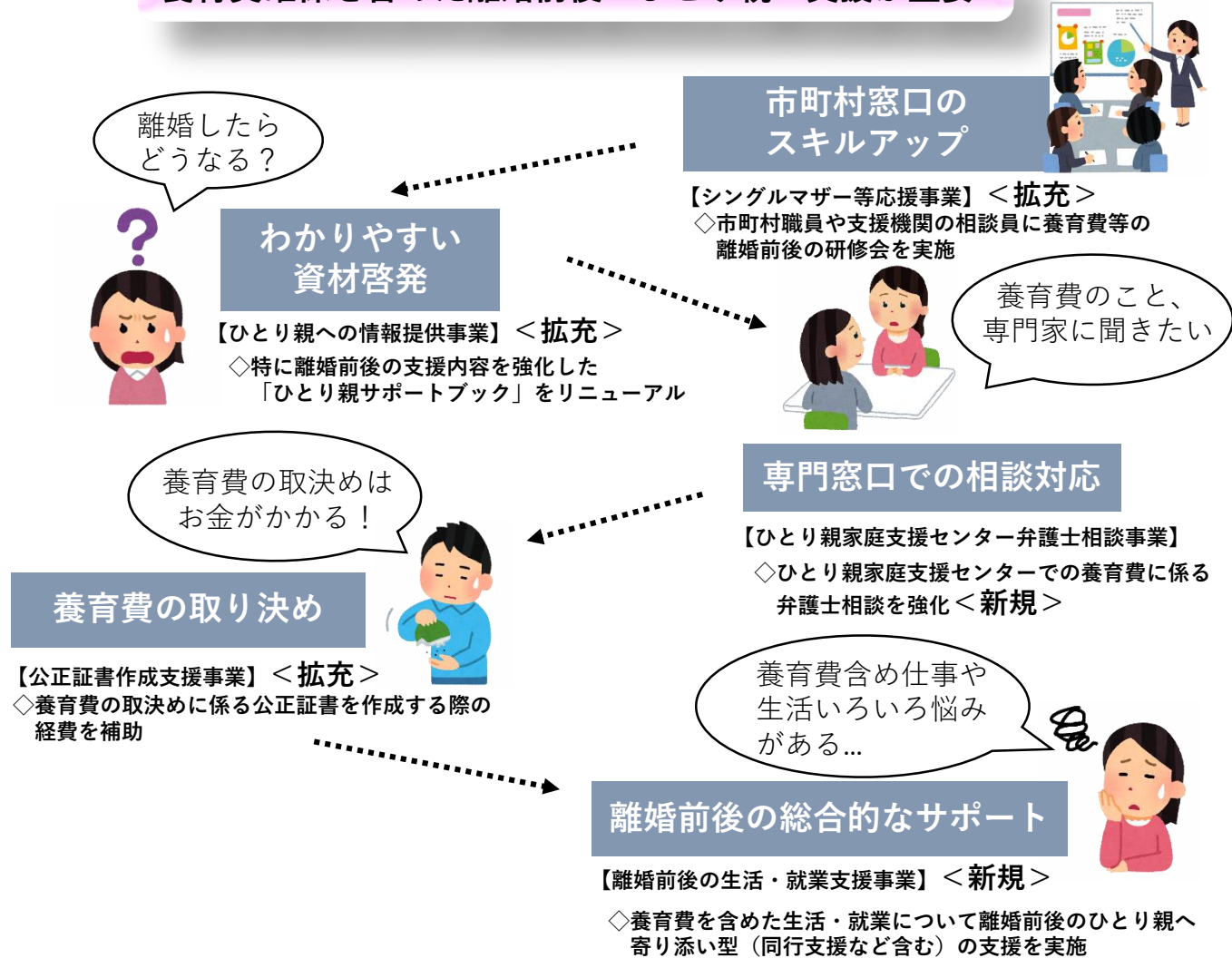
子どもの貧困の解消に向けた対策事業（R7～R9）

（子ども家庭課）

親への支援（養育費確保支援事業）

- ◆経済的に厳しい家庭が多く、相対的貧困状態にあるひとり親は2人に1人である。
- ◆養育費を受け取っているひとり親は、4人に1人程度と少ない。

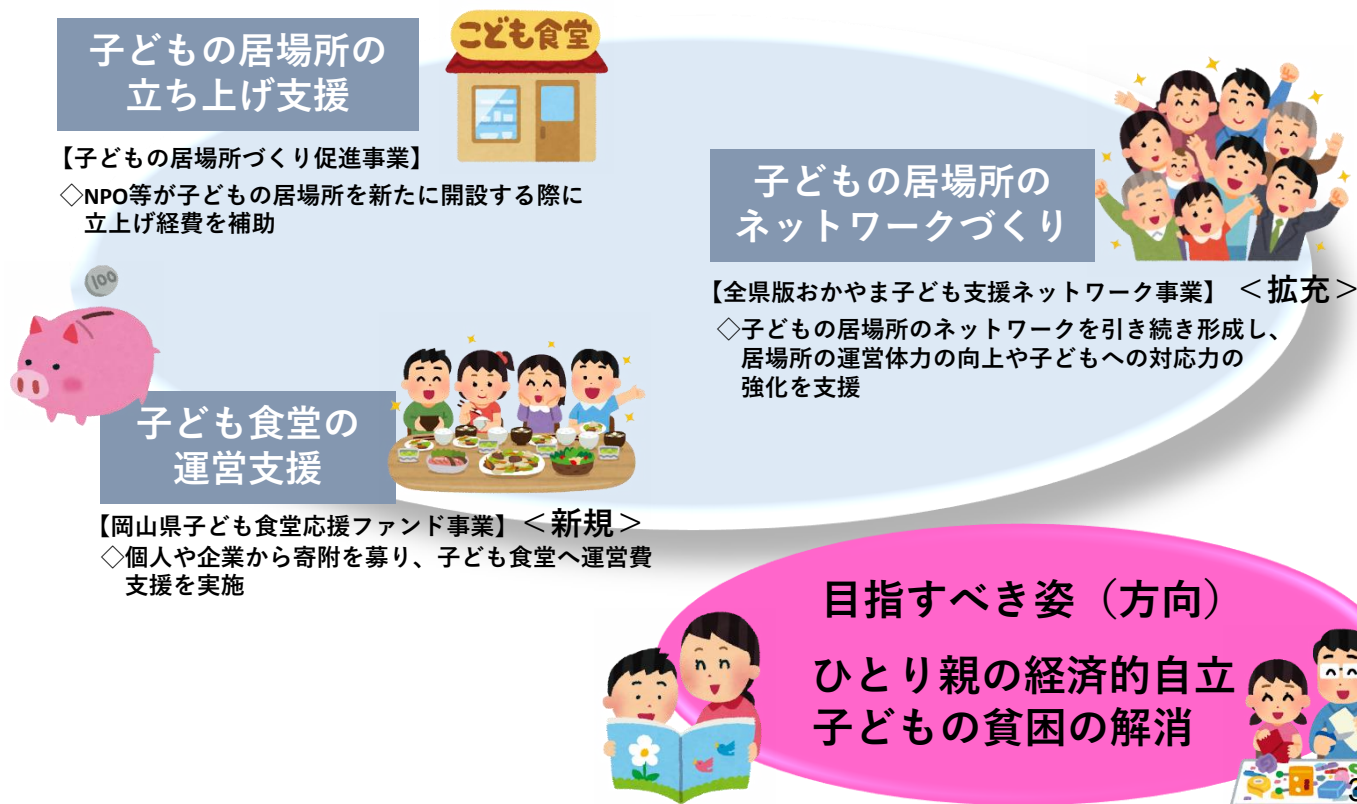
養育費確保を含めた離婚前後のひとり親の支援が重要



社会資源を活用した子どもへの支援

- ◆相対的貧困世帯に属する児童は約9人に1人で、教育・進路・体験の機会が奪われる。
- ◆子どもの居場所の県内での偏在や、運営に苦慮している団体が多い。

子どもの居場所の開設や活動支援を行い、地域全体で子どもに関わることが重要



子ども虐待防止総合強化事業

1 虐待防止の意識醸成

拡充児童虐待防止対策推進事業

子どもの虐待防止を推進するため、子どもの支援者の資質向上を図るとともに、子どもを含む県民、関係機関・団体等に対する普及啓発活動を継続的に実施し、虐待防止に向けた気運の醸成を図る。

2 市町村の機能強化

(1)市町村こども家庭センターサポート事業

市町村こども家庭センターの設置状況に応じた課題分析を行い、解決に向けて取組を進めていくため、研修会、あり方検討会、事例検討会や検討の成果報告会を実施する。

(2)子育て家庭支援基盤整備事業

社会的養護に係る子どもの権利が守られる体制の構築を推進していくとともに、親子関係の修復や再構築を図るための支援を県や市町村、施設等の関係機関が協働して行える体制の構築を推進していくため、市町村が実施する事業に対し補助を行う。

(3)**新規**子育て家庭相談等支援基盤整備事業

社会的養護経験者や虐待経験がありながらもこれまで公的支援につながらなかった者等への支援や、家庭生活に困難を抱える特定妊婦や出産後の母子等に対する支援を推進するため、市町村が実施する事業に対し補助を行う。

3 児童相談所の機能強化

新規児童相談所業務効率化促進事業

児童相談所において子どもの支援に多くの時間を充てることができるよう、ICT ツールを活用したシステムを導入し業務の効率化を図るとともに、紙の資料をデータ化の上、システム上に集約することで情報の検索性、情報共有の効率性の向上を図る。

4 里親委託等の推進

拡充里親養育包括支援事業

里親支援の強化のため、一時里親制度の活用等により新規里親の開拓や制度の普及啓発を行うとともに、里親登録前後等における研修の実施、子どもと里親のマッチング、里親委託中や解除後の支援など、里親・里子への包括的なフォローアップ体制の整備を図る。

5 児童養護施設の人材確保・人材育成

児童養護施設職員等資質向上事業

児童養護施設職員等の人材育成及び確保（離職防止）につなげ、施設職員の資質向上とともに児童への処遇の向上を図るため、児童養護施設等の職員の研修受講支援を行う。

6 社会的養護経験者等の自立支援

拡充社会的養護自立支援拠点事業

社会的養護経験者や、虐待経験がありながらもこれまで公的支援につながらなかった者等の孤立を防ぎ、必要な支援につなぐため、相互の交流を行う場所を開設し、必要な情報の提供、相談・助言、これらの者の支援に関連する関係機関との連絡調整を行うとともに、帰宅先を失っている場合などに、一時的に滞在し、状況が安定するまでの間、居住支援、生活支援を行う。

重点事業調書

(総務学事課)

担当部局・課名		総務部総務学事課			
重点事業の名称		私立学校の安定的な経営のための私学助成拡充			
第4次 生き生き プラン	重点戦略	Ⅱ 夢を育む教育県岡山の推進			
	戦略の方向	1 学ぶ力育成プログラム			
	施策	4 重点 子どもたちの学ぶ力が伸びる仕組みづくり			
第3期 創生 戦略	基本目標	2 つながり築き、人を呼び込む郷土岡山をつくる			
	対策	2 つながり築き、人を呼び込む郷土岡山づくりの推進（社会減少対策）			
	疎離パッケージ	2-③ 地方創生を担う人材の育成			
終期設定(年度)		予算区分	一般	事項名	私学助成費
現状、課題、必要性	【現状】 1 高校生等が在る低所得世帯の教科書費等の負担を軽減するため、国の補助制度を活用し、奨学のための給付金を支給している。 2 高校生等が在る世帯の授業料の負担を軽減するため、国の補助制度を活用し、就学支援金を支給している。 3 岡山県立大学や私立専門学校において実施している住民税非課税世帯等の学生を対象とした授業料等減免に対する補助を実施している。 4 国が、外国人入学生受入れのための通訳やサポート人材等の配置等への補助制度を新設する。 5 国が、幼稚園教諭のキャリアアップに資するための処遇改善メニューを新設する。 6 グローバル人材育成のため、私立高校生の留学に要する経費の一部を補助している。				
	【課題・必要性】 1 授業料以外の教育費を補助する奨学のための給付金制度において、令和7年度から国の給付額が引き上げられるとともに、専攻科については年収270万円以上600万円未満の世帯に対する給付が新設されることとなるため、これに合わせて県の給付額の引上げ等を行う必要がある。 2 授業料を補助する就学支援金制度において、令和7年度から高等学校専攻科に通う多子世帯の生徒への支援が所得制限なしに拡充されることとなるため、これに合わせて県の給付対象の拡充を行う必要がある。 3 国の制度改正に合わせ、多子世帯の学生について、授業料等を所得制限なく無償化する必要がある。 4 国の制度新設に合わせ、外国人入学生受入れのための環境整備を推進する必要がある。 5 国の制度新設に合わせ、幼稚園において質の高い人材を確保するための処遇改善を推進する必要がある。 6 グローバル人材育成を促進するため、私立高校生の留学経費に対する補助を令和7年度以降も継続する必要がある。				
事業内容	1 拡充奨学のための給付金の給付額等の拡充《285,916千円》 国の制度改正に合わせ、私立高校生等に対する奨学のための給付金の支給額を増額するとともに、支給対象を拡充する。 ○支給額（年額） ・非課税世帯 全日制等（第1子） 【R6年度】142,600円 → 【R7年度～】152,000円 ・専攻科 年収約270万円以上～600万円未満 非課税世帯への給付額の1/5（新設） ※専攻科については多子世帯のみ年収約380万円以上～600万円未満世帯も給付対象 2 拡充高等学校専攻科の生徒への就学支援金の拡充《21,574千円》 国の制度改正に合わせ、私立高校専攻科に通う多子世帯の生徒に対し、所得制限なく就学支援金を支給する。 ○支給額（年額） 427,200円 3 拡充高等教育の修学支援の充実《1,460,112千円》 国の制度改正に合わせ、岡山県立大学や私立専門学校に通う多子世帯の学生について、授業料等を所得制限な				

	く無償化するために要する経費を補助する。						
	4 拡充私立学校教育改革等推進補助金 《242,606千円》 国の制度改正に合わせ、私立学校の外国人入学生受入れのための環境整備を補助メニューに追加する。						
	5 拡充私立幼稚園教諭の処遇改善の推進 《2,000千円》 国の制度新設に合わせ、幼児教育の質の向上のため、専修免許状・一種免許状を取得する幼稚園教諭等を対象とした処遇改善を支援する。						
	6 拡充私立高校生留学支援事業の継続 《3,850千円》 終期：令和10年度 令和10年度まで事業を継続し、私立高校生の留学を促進する。						
事業の意図、効果等	【意図】						
	1 奨学のための給付金の県支給額の引上げや支給対象の拡充を行い、低所得世帯の負担軽減を図る。						
	2 高等学校専攻科に通う多子世帯の生徒に対して就学支援金を所得制限なく支給し、家庭の教育費負担の軽減を図る。						
	3 岡山県立大学や私立専門学校に通う多子世帯の学生に対する修学支援を所得制限なく支給し、家庭の教育費負担の軽減を図る。						
	4 外国人入学生の受入れのための環境整備を推進し、外国人への教育の質の向上を図る。						
	5 幼稚園教諭の処遇改善の取組を支援し、質の高い人材の確保を図る。						
	6 私立高校生留学支援事業を継続し、留学を促進する。						
	【効果】						
	1 低所得世帯の高校生等の教科書費等の負担を軽減することで、就学の継続を支援できる。						
	2 高等学校専攻科に通う生徒のいる多子世帯の負担を軽減することで、家庭の経済状況にかかわらず、生徒が安心して教育を受けることができる。						
3 岡山県立大学や私立専門学校に通う学生のいる多子世帯の負担を軽減することで、家庭の経済状況にかかわらず、学生が安心して教育を受けることができる。							
4 外国人が安心して学ぶことができる環境の整備が促進できる。							
5 質の高い幼稚園教諭を確保することができる。							
6 私立高校生の留学を促進することで、グローバル人材を育成することができる。							
事業目標	事業		生き活き指標、重要業績評価指標(KPI) 等		現状値	目標値	差
	6		私立高校生の海外留学者数		78(R5)	250(R10)	172
事業費の見積もり	区 分		R6 予算額	R7 予算額	R8 見込額	R9 見込額	R10 以降見込額
	事業費(単位：千円)		1,202,934	2,016,058	2,016,058	2,016,058	2,016,058
	財源内訳	国 庫	509,644	851,615	851,615	851,615	851,615
		起 債					
		その他特定財源					
		一 般 財 源	693,290	1,164,443	1,164,443	1,164,443	1,164,443

女性活躍推進事業

(人権・男女共同参画課)

現状・課題

- ◆ 少子高齢化が進む中、あらゆる分野における女性活躍の推進が期待される。
- ◆ 出産等を機に女性が非正規雇用化する「L字カーブ」や若い女性の都市圏への転出超過が課題
- ◆ 背景にある「長時間労働を中心とした労働慣行」や「女性への家事・育児等の無償労働時間の偏り」、「固定的な性別役割分担意識」の解消、男性が家庭や地域で活躍しやすい環境づくりなどを総合的に推進する必要がある。

事業内容



事業の効果

- ◆男女ともに安心して働ける職場環境の充実
- ◆若者の県内への定着
- ◆アンコンシャスバイアスの解消
- ◆男性の家庭・地域での活躍

少子化対策の推進

課題

おかやま妊娠・出産・子育て安心サポート連絡協議会、地域協議会で共有した課題

- 不妊治療を受けている方や、子どもを持ちたいと思う小児・AYA世代のがん患者等の経済的負担が大きい
- 医療資源の偏在により身近な場所での出産できない
- 産前産後の心身のケアや育児のサポート等多面的な支援が求められる
- 子どもの疾患の早期発見、早期治療による健やかな成長への支援が必要

切れ目のない支援により不安を解消！

安心して産み育てる環境づくりの取組

● ライフステージごとの課題を改善



妊娠

◎ 妊娠・出産を希望する方への支援

新 不妊治療費助成事業

【63,420千円】

不妊治療費（保険診療）の助成を行う市町村へ補助

・ 小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業

【8,137千円】

◎ 安心・安全な妊娠・出産を支える産前産後のトータルケア

【2,882千円】

・ おかやま妊娠・出産サポートセンター事業【組替】

新 遠方の産科医療機関等で受診する妊婦健診時にかかる交通費支援事業

【7,654千円】

遠方の産科医療機関等で妊婦健診を受診する必要がある妊婦へ、交通費を助成

新 妊婦に対する遠方の分娩取扱施設への交通費及び宿泊費支援事業

【3,981千円】

遠方の分娩取扱施設で出産する必要がある妊婦へ、交通費及び宿泊費を助成

・ 産後ケア事業の体制強化事業【拡充】

母親からの意見聴取や市町村と実施施設のマッチング

【1,166千円】

出産

◎ 子どもの健やかな成育のための予防活動

・ 新生児聴覚検査機器購入補助事業【継続】

【46,903千円】

・ 新生児マススクリーニング検査（拡大分）補助事業【拡充】

【46,239千円】

新生児マススクリーニングに3疾患を追加

（重症複合免疫不全症（SCID）、B細胞欠損症（BCD）、脊髄性筋萎縮症（SMA））

育児

◎ 子どもの急病の不安緩和、家庭の看護力強化

・ 小児救急電話相談（＃8000）及び家庭の看護力強化事業【継続】

【25,888千円】

タイミングを逃さない対応！

★妊娠・出産の希望に寄り添う

★次世代を担う子どもの健やかな成長へ



重点事業調書

(労働雇用政策課)

担当部局・課名		産業労働部労働雇用政策課、県民生活部国際課			
重点事業の名称		おかやま人材確保対策事業			
第4次 生き生き プラン	重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興 Ⅳ 安心で豊かさが実感できる地域の創造			
	戦略の方向	5 働く人応援プログラム 9 生きがい・元気づくり支援プログラム			
	施策	1 重点若者の県内定着を進める就職支援 2 重点県内企業の発展を担う人材の還流・定着の支援 3 重点意欲や能力に応じて活躍できる働き方の推進 4 重点男女の均等な雇用機会等の確保と女性の活躍推進 5 重点外国人材の活躍支援 6 重点高齢者の就業支援 4 推進外国人を含むすべての人が住みやすい多文化共生社会づくりの推進			
第3期 創生 戦略	基本目標	2 つながり築き、人を呼び込む郷土岡山をつくる 3 持続的に発展できる経済力を確保する 4 地域の活力を維持する			
	対策	2 つながり築き、人を呼び込む郷土岡山づくりの推進 3 地域の持続的発展のための経済力の確保 4 地域の持続的発展のための活力の維持			
	疎離パッケージ	2-② 若者の還流・定着 3-③ 多様な人材の活躍推進 4-② 地域社会の活性化			
終期設定(年度)	R12	予算区分	一般	事項名	企業人材確保対策費、若年労働者等雇用対策費 高齢者等雇用対策費、国際交流・多文化共生推進費
現状、課題、必要性	【現状】 ・県内企業への就職者数を増やし、県内産業の振興及び人材の還流と流出抑制を図るため、若者に対し、インターンシップ等への参加促進や、WEB会社見学会などを実施し、県内企業の魅力を発信している。 ・県内大学卒業者の県内就職率は約40%、県外大学卒業者のUターン就職率は約30%に留まっている。 ・令和7年4月から、「岡山県外国人材等支援推進条例」が施行される。 ・高齢者の雇用については、令和3年4月から、70歳までの就業確保措置が努力義務化されている。				
	【課題】 ・人手不足に対応するため、様々な分野の人材を掘り起こし、県内企業への就職につなげる必要がある。 ・「岡山中働き続けるイメージがわからない、県内企業を知らない」という学生の声がある。 ・70歳までの就業確保措置実施済の企業割合は、30.4%と少ない。 【必要性】 ・県内企業への就職者数を増やすため、おかやま就職応援センター等による就労支援や県内企業の魅力発信に継続して取り組む必要がある。 ・県内産業の振興及び人材の還流と流出抑制を図るため、県内大学卒業者の県内就職率及び県外大学卒業生のUターン就職率を高めていく必要がある。 ・「岡山県外国人材等支援推進条例」に規定された所要の措置を講じる必要がある。 ・70歳までの就業確保措置の導入例や職場環境整備の手法などについて、企業への周知や支援が必要である。				
事業内容	1 拡充おかやま人材確保対策事業《45,937千円》 (1) 拡充おかやま就職応援センター事業《42,433千円》 終期：R9 専門職員による無料職業紹介を実施し、県内企業の人材確保を支援する。また、県外の第二新卒を含めた転職希望者を対象にデジタルマーケティングを活用したダイレクトな情報提供を行うとともに、県内外の大学生等への就職相談等を通じて、I・J・Uターン就職を促進する。 新たに、正規雇用への一歩を踏み出せない人や、子育て中などで段階を踏みながらキャリアアップしていきたい人を対象に、準社員等の多様な働き方に対応した無料職業紹介を実施する。				
	(2) 新規ステップアップ支援事業《3,504千円》 終期：R9 復職等の希望者や、無業者等を対象に、多様な働き方のニーズに対応した、新たな就職に至るステップアップ支援に関するセミナー等を実施する。				
	(3) 新規保護者向けセミナー 終期：R9 大学の保護者会の場を活用し、就職活動の流れ、保護者ができるアドバイスや望ましい対応方法をはじめ、Uターン就職を検討する上での注意点や各種制度を周知するセミナーを実施する。				

事業内容

2

拡充東京 23 区からの I J U ターン就職支援事業《135,788 千円》

終期：R9

県内企業の求人を掲載したマッチングサイトを運営するとともに、東京 23 区からの移住者へ移住支援金を助成する。東京圏の大学生の就職活動費や、新たに要件を満たす U ターン就職者への移転費の一部を支給する市町村を支援する。

3

中小企業就職促進奨学金返還支援事業《5,745 千円》

終期：R12

従業員への奨学金返還支援制度を設け、県と共に県内就職の促進に取り組む中小企業に対し、当該企業の負担額の一部を助成する。

4

新規外国人材等支援推進事業《16,757 千円》

一部終期：R7・R9

条例の施行に伴い、規定された個別計画の策定を進めるための基礎調査を行うとともに、協議会の設置等を行う。また、条例の施行を踏まえた外国人材活用セミナー等を開催する。

5

拡充おかやま就活サポート事業《21,479 千円》

(1)

拡充おかやま就活サポーター事業《3,589 千円》

終期：R8

県内企業の若手社員（就活サポーター）が、イベント等を通じて学生に自身の就活体験や地元就職の魅力を P R する。

(2)

合同企業説明会開催事業《11,530 千円》

終期：R8

大学コンソーシアム岡山や経済団体と連携して、合同企業説明会を対面とオンラインで開催し、県内外の学生等の就職活動や県内企業の人材確保を支援する。

(3)

拡充企業魅力大発見・若手社員との交流事業《6,360 千円》

終期：R7

学生たちが作る就活サイトと連携し、WEB カメラ中継を活用した会社見学会や、学生と若手社員及び就活サポーターとの WEB 交流会を開催し、県内企業の魅力を発信する。新たに、おかやまテクノロジー展（OTEX）参加企業の担当者と就活サポーターを交え、見学に来る高校生との交流会を開催し、岡山発の最先端技術や B t o B 企業の魅力を直接感じてもらい、県内企業への就職を促進する。

6

拡充高年齢者活躍支援事業《4,500 千円》

終期：R9

ハローワーク等と連携し、70 歳雇用制度セミナーの開催や、個別相談、就職相談会を実施する。

事業の意図

効果等

【意図】

・就職に向けた様々な段階で県内企業の魅力を伝えることで、県内企業の認知度を高める。

・県内の人材の流出抑制とともに、県外からの人材還流を促進し、県内企業の人材確保を支援するため、専任のコーディネーターを活用し、キャリアカウンセリングからマッチングまでの伴走支援を行う。

・70 歳までの就業確保措置の県内企業への周知と、高年齢者の雇用支援を行う。

【効果】

・若者の還流、県内定着

・多様な人材の活躍による人手不足の解消

・県内経済の活性化

事業目標

事業	生き活き指標、重要業績評価指標 (KPI) 等	現状値	目標値	差
1、2、3、5	生き活き 県内大学新卒者の県内就職率	42.9% (R2～5 平均)	46.6% (R10)	3.7%
1、2、3、5	生き活き 本県出身の県外大学新卒者の U ターン就職率	33.8% (R2～5 平均)	35.5% (R10)	1.7%
4	生き活き 専門的知識・技術を有する外国人労働者数	3,211 人 (R5)	3,800 人 (R10)	589 人
6	生き活き 70 歳以上まで働ける企業割合	45.3% (R5)	55.0% (R10)	9.7%

事業費の見積もり

区 分	R6 予算額	R7 予算要求額	R8 見込額	R9 見込額	R10 以降見込額	
事業費(単位：千円)	189,805	230,206	239,785	246,586	3,315	
財源内訳	国 庫	96,236	85,857	94,976	108,660	
	起 債					
	その他特定財源					
	一 般 財 源	93,569	144,349	144,809	137,926	3,315

夢育の取組について

(教育政策課)

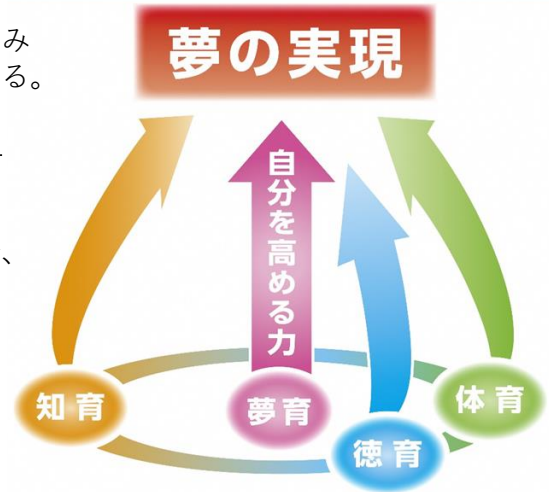
1 夢・夢育の考え方

(1) 夢 : 今はできないけれど、実現したいこと。

- 人生の目標となる大きな夢だけでなく、「今すぐやってみよう」と思い挑戦する身近な目標も、「夢」と位置付ける。

(2) 夢育 : 「夢」を育み、その実現に挑戦することで、
「自分を高める力」を育む教育。

- 子どもたちが多様な経験や多くの人々との出会いの中で、自分からやってみたいと思える「夢」を見つけることを支援する。
- 「夢」の実現に向けて挑戦する経験を繰り返すことで、意欲や自信などの「自分を高める力」が育まれ、学びに主体的・積極的に取り組むようになることから、やがて「自分はどう生きたいのか」という自分の人生について考える取組にまでつなげる。
- 学校・家庭・地域が連携して推進する。



2 関連事業

事業名	(千円) R7事業費
【新】夢への原動力構築事業	980
おかやま夢発信・交流事業	377
次世代おかやま「夢育」ネットワーク事業	8,215
夢に向かって世界に羽ばたけ！ 岡山の高校生応援事業	20,972
サイエンスチャレンジ	3,222
「科学オリンピックへの道」	449
スーパーサイエンスハイスクール事業	6,530
オンライン国際交流コーディネーター配置事業	1,621
コミュニティ・スクール伴走支援体制構築事業	293
高校コーディネーターによる高校と地域との 連携・協働推進事業	17,292

事業名	(千円) R7事業費
特別支援学校技能検定	762
みんなでチャレンジランキング	415
「部活動の地域移行」推進事業	46,771
おかやま子ども応援事業 (地域学校協働活動の推進等)	50,132
就学前の非認知能力育成支援事業	963
おかやま まなびとサーチ「夢育」 コンテンツ強化事業	6,825
地域学校協働活動推進事業	7,049
夢育パートナーズ推進事業	74
学校における文化活動支援	6,892

※金額は予算要求額ベース

合計 : 179,834千円
(R6 : 153,891千円)

【参考】 発達段階別の整理

就学前

小学校

中学校

高等学校

夢育アドバイザーの派遣

課題解決型学習(PBL)の推進

就学前の
非認知能力
育成支援事業

おかやま夢発信・交流事業
・ おかやま学びたい賞・フォーラム

次世代おかやま「夢育」ネット
ワーク事業

夢に向かって世界に羽ばたけ！
岡山の高校生応援事業

夢への原動力構築事業

サイエンスチャレンジ

「科学オリンピックへの道」

おかやま☆子ども参観日

スーパーサイエンス
ハイスクール事業

おかやま まなびとサーチ

オンライン国際交流
コーディネーター配置事業

いきいき岡山っ子☆運動
習慣カード

「部活動の地域移行」
推進事業

高校コーディネーターによる高校
と地域の連携・協働推進事業

みんなでチャレンジランキング

体力アップ・マイベストチャレンジ！

特別支援学校技能検定

コミュニティ・スクールの導入・推進

学校における文化活動支援

おかやま子ども応援事業（地域学校協働活動の推進等）

地域学校協働活動アドバイザーの派遣

夢育パートナーズによる体験活動の充実

学校教育

社会教育

将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合

小6 60.4% 中3 37.5% (R6.4調査)
→ 小6 70.0% 中3 50.0% (R11.4調査)

全国平均正答率との差(全国学力・学習状況調査)

小6 ▲1.0P 中3 +1.0P (R6.4調査)
→ 小6 +1.0P 中3 +1.0P (R11.4調査)

新 夢への原動力構築事業

- ・ 幼児期の育ちと学びが小学校・中学校へ広がるよう、探究的な学びの充実を図るため、伴走支援体制を構築

おかやま夢発信・交流事業

- ・ PBL等の取組を発信・オンラインで交流する場の提供

新 生徒会による「だれもが行きたくなる学校づくり」応援プロジェクト事業

- ・ 公立中学校の生徒会が自由な発想で行う自主的な企画による活動を支援

夢を育む教育・キャリア教育の推進

学びに向かう力・人間性等の涵養

確かな学力の育成

学ぶ意欲の向上

知識・技能の習得

思考力・判断力・表現力等の育成

主体的な学びの支援・充実

主体的な学びの基盤づくり事業

- ・ 放課後をはじめ朝学習や休憩時間等の補充学習への支援員の配置

新 生成AIを活用した学びのサイクル実証事業

- ・ モデル校において生成AI・学習アシスタントアプリを活用し、生徒の家庭学習における個に応じた学びを支援
- ・ 家庭と学校の学びのサイクル実証

ICTを活用した英語指導の普及

- ・ 「話すこと」「書くこと」の英語力の強化に向け、MEXCBTを活用した児童生徒の個別最適な学びの支援を普及

家庭学習指導の推進

- ・ 授業改革推進チームによる家庭学習の取組の研究・実践

教員の指導力向上

授業改革推進チームの配置

- ・ 高い指導力を持ち、優れた教育実践を行う教員を他校・地域に配置

英語コミュニケーションスキル向上事業

- ・ 中学校の英語授業の充実に向けた単元末のプロジェクト・ベースの言語活動の進め方の実践・研究

英語指導パワーアッププロジェクト事業

- ・ 小・中学校の英語教員の英語力向上や小・中学校の接続を意識した授業改善につながる指導力向上を図るため、民間のノウハウを活用した実践的な研修を開催

Waku[×]2算数推進事業

- ・ 大学教授や教員等と連携した算数の課題に対応した問題の作成、MEXCBTへの問題搭載

定着状況ステップアップ

- ・ 小学校4～6年生の算数を対象とするCBT(Computer Based Testing)方式による短期の定着状況の確認

分析結果に基づく指導・支援

多層的支援システム構築事業

- ・ 大学教授の指導助言を踏まえた学力調査等の分析結果に基づく対象を明確化した算数の指導・支援体制の構築

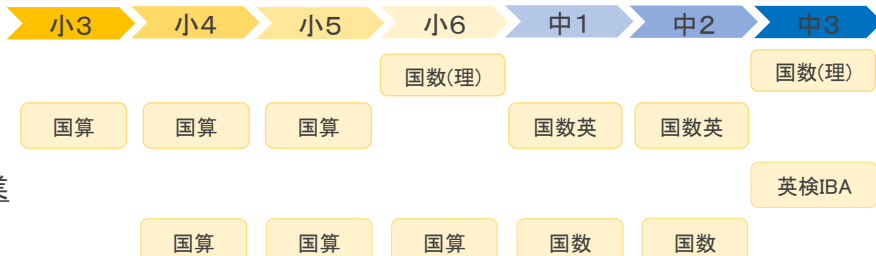
学力の定着状況の確認

全国学力・学習状況調査

岡山県学力・学習状況調査

英検IBAを活用した授業改善推進事業

学力定着状況確認テスト(CBT方式)



学校経営力の強化

学校経営力向上支援事業

- ・ 学校経営アドバイザー等が市町村教委と協働して県内全ての小・中学校等を年複数回訪問し、管理職のビジョンと戦略を支援

社会全体で家庭教育を応援する気運の醸成と体制の構築

生き生きおかやま家庭教育応援事業（R7）

- ①家庭教育支援チーム設立促進
- ②マンガ版「わが家のすこやか日記」
- ③組織横断会議（家庭教育支援施策推進会議）
- ④「親育ち応援学習プログラム」リニューアル

<家庭教育支援チーム等>

市町村

<子育て家庭>

- ・家庭訪問による支援
- ・相談対応
- ・専門機関への橋渡し

<二次支援>
アウトリーチ型支援

個別の支援が
必要な家庭

- ・学習機会の提供、
コーディネート
- ・情報紙作成
- ・活動拠点でのサロン

<一次支援>
学びの場や情報の提供

仕事等により学習機会
に参加できない家庭

家庭教育・子育てに
関心がある家庭

人材養成・
指導者養成

県

普及・
啓発

- ・就学前の非認知能力育成支援のための人材養成研修会
- ・家庭教育支援者スキルアップ講座
- ・すこやか家庭教育相談員養成講座
- ・ファシリテーター交流会
- ・PTA等指導者研修会

- ・「親育ち応援学習プログラム」等を活用した研修
- ・就学前の非認知能力育成支援事業
- ・家庭教育企業出前講座
- ・「ぱっちり！モグモグ」生活リズム向上キャンペーン
- ・マンガ版「わが家のすこやか日記」